



在学中合格

沖村 采城 さん
金沢大学
人間社会学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校3年 2年6ヵ月

1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	食事
2:00		14:00	移動
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	講義・自習
6:00	食事	18:00	
7:00	通学	19:00	
8:00		20:00	
9:00		21:00	移動
10:00	授業	22:00	
11:00		23:00	食事・休憩
12:00		0:00	睡眠

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約10時間 上級期 約10時間

TACのココが良かった！

講師W配信

講師によって情報量は少ないが初見でも分かりやすいように整理している講師や、様々な視点から論じているが前提知識が不足すると理解が難しい講師など3時間の使い方が大きく違うように思いました。そこで理解が十分でない科目については他の講師の講義を視聴することが、より適切な理解につながると思いました。

とにかく前に進み、精度が低くてももう一周して挽回できる時間的余裕を作ることを意識

公認会計士を目指したきっかけ



中学1年生の頃に簿記の学習をはじめ、高校卒業まで順調に日商簿記3級、2級を取得しました。そして高校3年生の時に将来の就職先を考えた際、これまで身に付けてきた会計の知識を存分に生かせる環境下に身を置きたいと考えました。このとき簿記の資格だけでは必ずしも会計に関する業務が割り当てられる又はできるとは限らないと考え、会計の最高峰の資格を取得することで、会計に携わるチャンスを拡大したいと考えました。

TACを選んだ理由



一つは地方でも都市と遜色ない環境で学習ができるためです。他社では東京に校舎が集中したり、通信とライブ講義との隔たりが大きいことで差をつけられてしまうのではないかと不安感がありました。

この点TACは通信でも同品質の授業を提供しており、集中できる自習室もあったため、高い学習成果が期待できました。加えて、高校生向けコースを受講することで受講料も比較的安く抑えられ、コストも優れていると思いました。

具体的な学習法



入校時から強く意識していたことはとにかく前に進むことです。ある論点の精度が低くてももう一周して挽回できると思えるほどの時間的余裕を作ることを意識していました。学習分量が多いと時間がないと焦り、パフォーマンスが下がるという悪循環に陥りがちです。このためできることはさっさとやるという事を徹底しました。

計算科目は倍速で講義を見、その直後に対応するトレーニングその他問題集を解きました。また復習時間に空きがあれば過去問題集やパワーアップ問題集に着手し、負荷を上げました。特に入門期に取り組んだ計算科目の精度は論文式試験の成績まで影響を及ぼすので、できる限りどの論点でも怖気付かないような状態に仕上げるように心がけました。

一方、理論科目は動画を何度も止めるなどして、授業の時間でその教科に関する理解をしきることを徹底しました。特に初期はテキストに静かに向き合う時間を設けていましたが、テキストを読んだ直後に結局何も覚えていないということが多くことに気が付きました。思うに理論科目は難解な概念や言葉遣いが多いことから、ただ字面を追いかけるだけでは内容は定着しなかったのだと思います。これらを分かりやすく講釈してもらうために講義があるのですから、講義を聞いたときが一番理解が促進されるタイミングです。講義内で学習を一旦完結させ、暗中模索で自習しなければという不安要素を取り除くようにしていました。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



知識が身につくことを楽しいと思えますか？
監査の世界を覗きたい。法律を通して世界を見たい。引かれる税金の計算過程を知りたい。何より会社のお金回りに詳しくなりたい。
まずはそういった関心を抱けるかどうかで勉強の辛さや苦しさ、楽しさや面白さが変わってくると思います。

ところで、日々の暮らしの中にも勉強の材料は転がっています。司法試験受験生はコンビニで買い物をする度に民法の条文を想起してしまうと聞きます。先日私もスーパーマーケットの店員さんにポイントカードはありませんかと聞かれて収益認識の論点が思い浮かんでしまいました。日々の暮らしはビジネスに紐づき、どんなビジネスも会計抜きでは成り立ちません。たとえ机に座っていなくても、学びを振り返るふとしたきっかけはあなたの周りに溢れていますよ。